

# きらきら☆NPO・市民活動



## NPO法人 どっちんクラブ

～特産品開発とまちづくり～

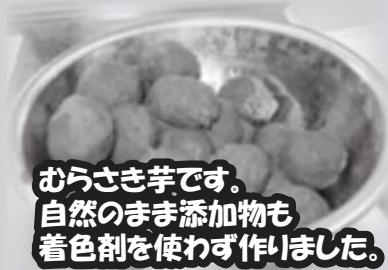


皆さん、「どっちん」ってご存じですか？ 正式な学名は分かりませんが、琵琶湖に住んでいた体長3センチから5センチぐらいの魚で地域によっては「ごり」と言っています。水辺の石ころをスイスイと飛ぶ様に伝わって泳いでいました。一見、ナマズの赤ちゃんかと思える様な愛らしい姿をしています。20～30年前には 高島の琵琶湖岸ではどこでもいましたが、最近はずっかり見かけなくなっていました。

そんな愛嬌のある魚「どっちん」を法人名称にし、自然豊かな安曇川町で、「地域に根ざした活動を」という想いで集まった三人からスタートしたのが 我がNPO法人どっちんクラブです。ロゴマークも「どっちん」をデザインしたものを使って、地元安曇川町の特産品開発と、まちづくりを合言葉に活動を開始したのですが、メンバー全員が仕事を持つので活動なので、運営上 難しい問題が沢山ありました。「おやき」を安曇川町の名産土産にしようとして取り組んで、かなりのところまで行ったこともあります。そして現在は、安曇川地域の特産品の開発・普及、そして地域の子どもと大人のふれあいの場を提供して、まちの活性化を図りたいと活動しています。



おやき

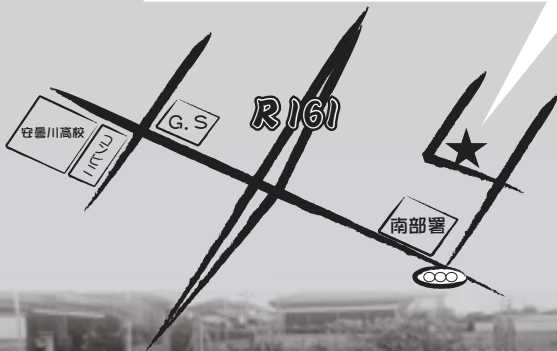


むらさき芋です。  
自然のまま添加物も  
着色剤を使わず作りました。

安曇川町に限らず、高島市全域で高齢化が進み、地域コミュニティの活力が弱くなってきています。集落で、日中 高齢者や子ども達の姿を見かけることも少なくなって来ました。このような状態を放置しておけない！ まだまだお元気で頑張っていただけのご高齢の方々には、まちに出てきていただき、例えば みんなで一緒に野菜作りをし、収穫物で食事を作って語り合う。そこには地域の子ども達が遊びに来て、人生の大先輩から多くの事柄を学ぶ、そんなまちづくりを目指しています。

これから5年先、10年先のことを考えて、今 市民が何をしなければいけないか？ いつも、メンバーで話し合っていて、やりたいことがいっぱいあるのですが ... 熱意や想いだけでは出来ないことも多くて残念です。そんな我々ですが、NPO法人設立当初の想いを大切に頑張っていきたいと思っていますので、応援して下さい。

**どっちんクラブ**  
理事長 横塚 守  
滋賀県高島市安曇川町青柳 2032-129  
TEL : FAX 0740-32-1218  
メール : dplaza@muh.biglobe.ne.jp



### 取材の感想

少子高齢化が進む高島市で必要なもの。それを活動の柱にして活動されているNPO法人どっちんクラブさんですが、その高い志を実行していることとすると、イロイロな問題があるようです。その最大の問題は、多くのNPO法人さんに共通している財政基盤の問題でしょうか。

行政からの直接補助は難しくても、イロイロな団体や企業が助成金プログラムを提供しています。その様なプログラムを探し出して。更に本来活動を行う為に二次的に必要とする業務を裏方として支援するとか、協働交流センターが市民活動団体さんと一緒になって（協働して）取り組むことが重要だと感じました。

(協働交流センター記)



草の生い茂る宅地を利用して野菜を作り  
地域住民の交流の場所にと現在計画中